

**平成26年度
バランスシート**

普通会計のバランスシートは、県が昭和44年度以降整備してきた資産の構成や将来返済すべき負債等について計上しており、県民に県の資産等の状況を明らかにするとともに、今後の県の財政運営に役立てるために作成したものです。

平成26年度バランスシートについて

平成26年度の普通会計のバランスシートは以下のとおりです。

(単位：百万円、%)

	26年度	25年度	増減額	増減率
資産	3,819,852	3,876,399	56,547	1.5
負債	1,425,158	1,439,347	14,189	1.0
うち臨時財政対策債	419,971	356,768	63,203	17.7
純資産	2,394,694	2,437,052	42,358	1.7
負債・純資産合計	3,819,852	3,876,399	56,547	1.5

総務省方式改訂モデルにより作成

資産に対する純資産の割合は 62.7%

負債の割合は 37.3% となっています。

資産は、有形固定資産や基金等の減少などにより、前年度と比べて565億4千7百万円、1.5%の減となっています。

負債は、退職手当引当金の減少などにより、前年度と比べて141億8千9百万円、1.0%の減となっています。

バランスシート作成の前提

対象会計範囲	普通会計（一般会計＋長崎魚市場特別会計、港湾施設整備特別会計及び流域下水道特別会計の3特別会計以外の特別会計で企業会計は除く）
作成基準日	平成27年3月31日
基礎数値	昭和44年度から平成26年度までの決算統計（地方財政状況調査）データを用いて作成
有形固定資産の評価方法	普通建設事業費をもって有形固定資産の取得原価として評価し、減価償却後の残存価額を計上。ただし、有形固定資産のうち売却可能資産については、時価評価に修正。
減価償却の方法	行政目的別に総務省が示した耐用年数表に基づいて定額法により減価償却 なお、土地については減価償却は行わない
退職給与引当金の算定	年度末に職員全員が普通退職したと想定して、その要支給額を積み上げて引当金計上

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	1,131,399,983
生活インフラ・国土保全	2,524,929,710	(2) 長期未払金	
教育	242,298,901	物件の購入等	0
福祉	7,217,519	債務保証又は損失補償	0
環境衛生	7,425,422	その他	729,388
産業振興	722,810,378	長期未払金計	729,388
警察	22,549,782	(3) 退職手当引当金	165,345,036
総務	62,384,912	(4) 損失補償等引当金	3,153,007
有形固定資産合計	3,589,616,624	固定負債合計	1,300,627,414
(2) 売却可能資産	1,578,254		
公共資産合計	3,591,194,878	2 流動負債	
2 投資等		(1) 翌年度償還予定地方債	96,950,578
(1) 投資及び出資金		(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	0
投資及び出資金	47,671,840	(3) 未払金	470,119
投資損失引当金	0	(4) 翌年度支払予定退職手当	16,221,342
投資及び出資金計	47,671,840	(5) 賞与引当金	10,888,731
(2) 貸付金	45,660,448	流動負債合計	124,530,770
(3) 基金等		負債合計	1,425,158,184
退職手当目的基金	10,997,633		
その他特定目的基金	76,746,802	[純資産の部]	
土地開発基金	3,194,443	1 公共資産等整備国県補助金等	1,316,008,756
その他定額運用基金	370,000	2 公共資産等整備一般財源等	1,761,890,665
退職手当組合積立金	0	3 その他一般財源等	685,536,535
基金等計	91,308,878	4 資産評価差額	2,331,398
(4) 長期延滞債権	3,288,521	純資産合計	2,394,694,284
(5) 回収不能見込額	124,793		
投資等合計	187,804,894		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
財政調整基金	7,438,647		
減債基金	11,027,336		
歳計現金	21,445,303		
現金預金計	39,911,286		
(2) 未収金			
地方税	770,401		
その他	173,865		
回収不能見込額	2,856		
未収金計	941,410		
流動資産合計	40,852,696		
資 産 合 計	3,819,852,468	負債・純資産合計	3,819,852,468

1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

生活インフラ・国土保全	794,012,670 千円
教育	29,533,146 千円
福祉	40,523,279 千円
環境衛生	16,582,370 千円
産業振興	405,547,239 千円
警察	1,325,007 千円
総務	36,865,226 千円
計	1,324,388,937 千円

上の支出金に充当された財源

国県補助金等	152,390,890 千円
地方債	148,102,377 千円
一般財源等	1,023,895,670 千円
計	1,324,388,937 千円

2 債務負担行為に関する情報

物件の購入等	34,010,066 千円
債務保証又は損失補償	9,191,141 千円
(うち共同発行地方債に係るもの)	0 千円)
その他	53,448,830 千円

3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち762,170,337千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

4 普通会計の将来負担に関する情報

項目	金額
普通会計の将来負担額	1,428,229,671 千円
[内訳] 普通会計地方債残高	1,229,361,933 千円
債務負担行為支出予定額	2,590,208 千円
公営事業地方債負担見込額	3,792,477 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	7,765,668 千円
退職手当負担見込額	181,566,378 千円
第三セクター等債務負担見込額	3,153,007 千円
連結実質赤字額	0 千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円
基金等将来負担軽減資産	854,599,847 千円
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	84,754,393 千円
地方債償還額等充当歳入見込額	7,675,117 千円
地方債償還額等充当交付税見込額	762,170,337 千円
(差引) 普通会計が将来負担すべき実質的な負債	573,629,824 千円

5 有形固定資産のうち、土地は659,519,258千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は2,723,471,065千円です。